



## 大田原市立図書館 からのお知らせ



大田原図書館 ☎0287-23-4560 通年9:00～19:00  
 黒羽図書館 ☎0287-59-0855 平日9:30～18:30 (土・日・祝)17:30まで  
 湯津上図書室 ☎0287-98-7037 通年9:00～17:00

名称	場所	日時
絵本や紙しばいの読み聞かせ ピノキオおはなし会	大田原図書館 おはなしコーナー	7月5日(日)、19日(日)、 8月2日(日) 14:00～
こどものつどい 出演：ガールスカウト		7月12日(日)、8月9日(日) 14:00～
にじいろおはなし会	トコトコ大田原 3階つどいの広場	7月28日(火)、8月25日(火) 10:45～
おひさま ぼかぼかの会	しんとみ子育て 支援センター	7月10日(金) 11:00～ ※8月はお休みです。
コアラ おはなし会	黒羽図書館2階 視聴覚室	7月12日(日)、8月9日(日) 11:00～

### \* 今月のおすすめ図書 \*

#### 『ぼくは川のように話す』

ジョーダン・スコット/文 シドニー・スミス/絵

川のように、言葉もうねり、岩にぶつかるような流れを経て、私たちの口から出るのだと描かれています。個性をそのまま肯定する優しさを感じる絵本です。

#### 『今日も私は、ひとつの菓子を』

高田 充/著

主人公がさまざまな困難を乗り越え、和菓子職人として成長していく物語。努力！根性！忍耐！心にじんわりと染みる一冊。



### 図書館を使った調べる学習講座のお知らせ

- 日時 8月1日(土) ①10:00～11:30、②13:30～15:00
- 場所 トコトコ大田原3階 中会議室
- 対象者 小学生と保護者 ●定員 各5組
- 申込方法 大田原図書館へ直接または電話で申し込み

### わくわく折り紙教室～与一くんを折ろう～

- 日時 8月8日(土) 10:00～11:30 ●場所 黒羽図書館2階  
視聴覚室 ●対象者 小学生以上 ●定員 20名(先着順)
- 費用 無料 ●講師 小野 純子 先生 ●持ち物のり
- 申込方法 7月1日(土)から、黒羽図書館へ直接または電話で申し込み

### 移動図書館 運行日程表

Aコース▶7月1日(水)・15日(水) 8月5日(水)		Bコース▶7月8日(水)・22日(水) 8月12日(水)	
道の駅 那須 与一の郷	10:00～11:00	黒羽・川西 地区公民館	10:00～10:50
須賀川地区 公民館	13:30～14:20	佐良土多目的 交流センター	13:00～13:50
両郷地区 公民館	14:50～15:40	佐久山地区 公民館	14:20～15:10



## 那須野が原ハーモニーホールからのお知らせ



☎0287-24-0880

### チケット発売情報

#### 那須野が原ハーモニーホール友の会会員招待事業 トーマス・トロッター オルガン・リサイタル

- 日時 10月18日(日) 14:00開演 ●会場 大ホール
- チケット▶全席自由2,000円(友の会1,800円)  
大学生以下1,000円 ※小学生以上の入場となります。
- 友の会優先電話予約 7月2日(土) ●一般発売 7月4日(土)

#### クリスマス/アヴェ・マリア

- 日時 12月20日(日) 14:00開演 ●会場 大ホール
- チケット▶全席指定4,900円(友の会4,500円)  
※小学生以上の入場となります。
- 出演 弦楽合奏:エリザベート弦楽アンサンブル  
(特別出演) 合唱:那須野が原少年少女合唱団
- 友の会優先電話予約 7月27日(日) ●一般発売 7月29日(火)

### 参加者団体募集

#### ハーモニーホールフェスティバル 舞踊のつどい

- 日時 11月14日(土) ●会場 小ホール
- 参加資格 大田原市か那須塩原市に在住または在勤の方で構成されている、舞踊の文化団体およびサークル
- 参加費 3,000円(1団体)
- 申込方法 7月5日(日)～15日(火)に電話で申し込み

#### ハーモニー寄席 立川 晴の輔・宝井 琴鶴・玉川 太福 究極の話芸～落語・講談・浪曲～



- 日時 11月7日(土) 14:00開演 ●会場 小ホール
- チケット▶全席指定3,000円(友の会2,700円)  
※小学生以上の入場となります。
- 友の会優先電話予約 8月20日(土) ●一般発売 8月22日(土)

### チケット好評発売中

#### 那須野が原ハーモニーホール友の会会員招待事業 須川 展也とみんなの吹奏楽祭り

- 日時 10月24日(土) 14:00開演 ●会場 大ホール
- チケット▶全席自由1,000円(友の会 900円)  
▶小学生～高校生 500円  
▶未就学児ひざ上無料(座席が必要な場合は有料)  
※0歳から入場できます。
- 出演▶サクソ:須川 展也 ▶ピアノ:小柳 美奈子

# 自然観察館だより

TEL 0287-28-3251



休館日：毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日(日曜を除く)  
■開館時間…9:30～16:30(入館は16:00まで)  
※7月18日(土)～8月30日(日)の土・日曜日は17:00まで開館

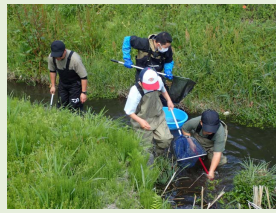
## ■世界のカブト・クワガタ展好評開催中

毎年夏恒例の「世界のカブト・クワガタ展」を9月13日(日)まで開催中です。世界最大のカブトムシのヘラクレスオオカブトをはじめ、ネプチューンオオカブト、スマトラオオヒラタクワガタなど珍しいカブトムシやクワガタムシがご覧いただけます。また生体のカブト・クワガタと触れ合えるコーナーも用意していますので、ぜひお越しください。



## ■自然観察会報告①「善勝川の水質・生き物を調べよう」

令和8年度第1回目は4月26日、講師として大田原理科クラブ事務局長の刑部 節氏をお招きして総勢27名で「善勝川の水質・生き物調査」を開催しました。



この日は昨年度同様、栃木県立馬頭高等学校水産科水産化学研究部の生徒が各グループに参加し、一緒に調査を行った結果、ザリガニ、ドジョウ、カワムツなど多くの水生生物を見つけることができました。特に外来種であるアメリカザリガニの数は昨年度よりも増加し、この日だけでも140匹捕獲できました。

まとめとして、参加した生徒からそれぞれの生物の特徴などをとても分かりやすく説明していただき、充実した観察会となりました。



## ■自然観察会報告②「絵手紙に挑戦3」

第2回目は5月16日に開催しました。前半は観察館周辺を講師の阿久津 正弘氏と一緒に歩きながら植物や昆虫を観察しました。後半は大工房で観察した植物などをモチーフにした絵手紙に挑戦しました。

参加者全員が集中して取り組み、あっという間に時間が過ぎ、温かい言葉が添えられた世界に一つしかないステキな絵手紙が完成しました。(参加者全員の絵手紙は『HP自然観察だより5月23日完成作品』をご覧ください)



## ■臨時および振替休館日のお知らせ

7月21日(火)(20日(金)は開館)

詳細は自然観察館HPをご覧ください

# 天文館だより

TEL 0287-28-3254



休館日：毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日(日曜を除く)  
■開館時間…13:30～21:00(入館は20:30まで)

## ★星空情報★

### ■夏の代表格 さそり座"アンタレス"

夏を代表する星座の一つに"さそり座"があります。右のような星の並びで、赤い星印のところには"アンタレス"という星があります。肉眼でもオレンジ色に見える1等星です。



このアンタレスですが、現在、直径が太陽のおよそ700倍、表面温度が約3500Kの"赤色超巨星"と呼ばれる巨大化した天体となっています。そしてその最期は超新星爆発を起こすのではないかと考えられています。この星が赤っぽく見えるのは、膨張と収縮のバランスがとれなくなることで巨大化し、表面積が大きくなった結果、表面温度が低くなったためです。星の色は、その星の表面温度と関わりがあり、温度が低いほどオレンジや赤色を帯びようになります。

超新星爆発を起こした星は、満月と同じくらいの明るさになり、数週間もの間、昼間でもその姿を確認することができるようになりますと言われています。

天文館で行う夏の観望会では、観望対象となる天体です。ぜひ望遠鏡でその姿をご覧ください。

## ★主なイベント(8月)★

### ①夏の星座観望会(一般向け)

●日時 8月1日(土)～6日(木) 19:40～21:00

●内容 はくちょう座やこと座、わし座、南のさそり座やいて座など、夏の星座を観望します。天気が良い日には天の川も見られます。一般向けとなっていますが、お子さまの参加も可能です。

### ②夏の星座教室(小・中学生向け)

●日時 8月7日(金)～12日(水)、14日(金)～23日(日)

19:40～21:00

●内容 学校で学習したことを、実際の夜空で確かめます。夏の大三角や、さそり座・いて座などを探してみましよう。



▲夏の三大角と天の川

### ③ペルセウス座流星群観望会

●日時 8月13日(土) 19:00～21:00

●内容 3大流星群の一つであるペルセウス座流星群観望会を実施します。広い芝生の上で、たくさんの流星をご覧ください。星座案内や望遠鏡を持ち出での天体観望も実施します。詳しくは、ふれあいの丘天文館までご連絡ください。

詳細は天文館HPをご覧ください

🌸 報告者：青木 祐実(移住定住担当)

大田原市地域おこし協力隊の青木です。「地味だけれど滋味深いごはんとおやつ」をコンセプトにしたお店「じみじみ」のオープン1周年記念イベントとして開催された『じみじみマルシェ』に出店しました。

当日は、飲食や地元野菜、雑貨の販売、ワークショップなど13店舗が集まり、私は、協力隊の活動内容や、これまで取材した地域のカフェ・ワークショップについての情報をパネルやチラシを使って紹介しました。また、アンケートの実施やハンドマッサージ体験も行いました。

今回、主催者様よりお声がけいただき、協力隊に着任した当初から目標にしていた「マルシェ出店」を実現することができました。地域の皆さまのおかげで、大

きな第一歩を踏み出せたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

今後は、ハンドマッサージや焼き菓子販売など、さまざまな形でイベント出店を予定しております。見かけた際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。今後ともよろしくお祈いします。



なす風土記ものがたり vol.74

🔍 前方後方墳という名前

古代那須地域の古墳の形として特徴的なのが、前方後方墳という形です。日本初の発掘調査を命じた徳川光圀や佐々介三郎宗淳・大金重貞は、「車塚」と呼んでいたことが記録に残っています。

古墳で一般的に知られているのは、「前方後円墳」という鍵穴に似た形です。この名をつけたのは、宇都宮出身の江戸時代後期の儒学者・蒲生君平です。そして、前に述べた前方後方墳という呼び方をしたのは、足利を中心に活躍した明治から昭和期の歴史学者・丸山瓦全です。大正14年5月5日発行の『考古学雑誌』第15号にて「下野国の前方後円墳」の中で、上車塚・下車塚を未発掘の前方後方墳として報告しています。「上下車塚は確に前方後方墳なり」と断定したうえで、「他にこのような

類例があれば、ご教示ください」と記しています。

また同時期に、大正14年4月30日発行の『島根県史』第四巻に、島根県史蹟調査員の野津左馬之助によっても「従来考古学者の記述に見ざる我国稀有のもの」として前方後方墳を紹介しています。奇しくも大正14年に、日本の東と西で「前方後方墳」という新しい考古学用語が初めて使われたのです。



知って得する暮らし情報 vol.51

🌿 ごみ処理の有料化を検討しています

近年、私たちのライフスタイルの変化に伴い、市ではこれまでも分別の徹底や減量化を呼びかけてまいりましたが、地球温暖化対策や限られた埋立地(最終処分場)の延命、そして次世代へ豊かな環境を引き継ぐためには、さらなるごみの削減と資源化への取り組みが避けられない状況にあります。このような背景から、市では「ごみ問題検討委員会」を結成し「ごみ処理の有料化」の導入に向けて、袋の値段や種類など、さまざまな課題を整理し、検討を進めていきます。

市民の皆さまには新たなご負担をおかけすることになりますが、ごみの減量と分別によるリサイクルへのご理解とご協力をお願いします。



●なぜ、いま「有料化」が必要なのでしょう？

▶ごみの排出量を減らし、資源化を推進するため

新たな仕組みを導入することで、一人ひとりの「ごみを減らそう」という意識が高まります。

▶公平性を確保するため

分別の努力をして、ごみの量を少なく抑えている人も、そうでない人も、今は同じように税金で処理費用を賄っています。有料化の導入により「ごみを多く出すほど処理費用が多くかかる」という仕組みへと変わります。

▶処理費用・管理コストの増大を抑えるため

ごみの収集や焼却、施設の維持管理には毎年多額の経費がかかっています。分別によってごみ総量を減らすことで、将来的な施設の更新費用や維持管理費を抑え、ごみ処理にかかる財政負担を軽減します。